

# 夏に見られる病気

いわゆる風邪や食中毒など、おもにウイルス性で、夏に流行しやすい病気です。

Phone 0596-31-1511

## 咽頭結膜熱 いんとけつまくねつ

咽頭結膜熱は、**アデノウイルス**による病気で、子供の感染症では比較的ポピュラーな病気です。

夏に多く見られ、プールでうつることが多い為、**プール熱**とも言われますが、咳やくしゃみでうつり、一年を通して見られます。

原因となるアデノウイルスは50種類以上に細かく分類され、その中の数種類が咽頭結膜熱の原因となります。ひとつのウイルスには一生に一度しかかかりませんが、原因ウイルスが多いため「はしか」のように一度で終わりとはなりません。



このウイルスに有効な薬はなく、対症療法が主体となります。

- ◆潜伏期間は2～7日です。
- ◆**39度を越える高熱**が5～7日ほど続き、時に**咳**や**鼻水**を伴います。また病名にもあるように**結膜が充血**します。

## カンピロバクター腸炎

カンピロバクターは食中毒をおこす細菌の一種で、子供の細菌性の腸炎では最も多い原因のひとつです。

感染源は汚染された食肉や水などですが、日本では特に**鶏の保菌率が高く**、鶏肉を調理したまな板や包丁で調理を続けると他の食材に菌がうつります。肉類を調理したら必ず調理道具に熱湯をかけるか洗剤で菌を洗い落としましょう。また生卵も感染源になるので注意してください。

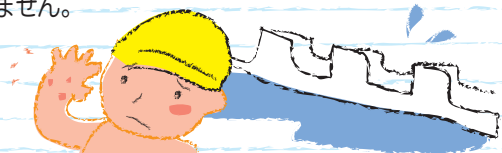


症状は**下痢**、**腹痛**、時に**発熱**、さらに約40%の人に**血便**がみられます。症状から「O-157ではないか」と心配されますが、この菌は治療によく反応し、後遺症を残すことはないといわれています。

## 伝染性軟属腫 水いぼ

伝染性軟属腫は顔、手、背中、お尻などの皮膚にできる「いぼ」の一種です。一般的には水いぼと呼ばれ、どんどん増え**百いぼ**とも言われます。

原因はウイルスで、皮膚の接触で感染し、自分自身でも、また他人にもうつります。プールなどでうつることもあり、幼稚園、保育園のプール時期に多くなります。しかし、体の中に入って熱を出したり、咳の原因になることはありません。



治療は物理的に取り除くことですが、具体的にはピンセットなどで皮膚ごと摘み取ります。かなり痛みを伴い、また一回きりで終わるのではなく、その後1、2ヶ月で隠れていたいぼが大きくなっていけば、また取り続けなければなりません。途中でやめてしまうと、折角の苦労が水の泡となってしまいます。しかし放っておいてもそのうち免疫ができて、半年、遅くとも数年で自然に治っていくといわれています。

## 無症候性血尿 むしょうせいけつにょう

3歳健診などで、偶然に**血尿**が見つかることがあります。検査のテープや顕微鏡で、血液中の赤血球がおしっこの中に出てくる場合があります。しかし他にはまったく症状がなく、検査でも異常がない場合には、その多くが無症候性血尿と考えられ、そのうち自然に治っていったり、あるいは仮に続いても腎機能が悪くなることもなく、何の問題もなく一生を送れることがほとんどです。

したがって、無症候性血尿と言われた場合には、特に薬を飲んだり、運動制限や食事制限をする必要はありません。しかしその後、血尿の量が増加したり、**蛋白尿**を伴ったりしてこないか、定期的な（1～6ヶ月に一度）おしっこの検査が必要なこともあります。

